



東北大学グローバルCOE

Network Medicine創生拠点

大学院セミナー

## 高津 聖志 先生

富山県薬事研究所・所長

富山大学大学院医学薬学研究部・教授

### 結核菌とアジュバント活性

2008年12月16日（火） 16時30分-17時30分

医学部5号館201号室（2階）

高津聖志先生はB細胞研究の日本の第一人者であり、インターロイキン5とその受容体の同定・遺伝子単離で世界的に知られる免疫学者です。熊本大学、東京大学医科学研究所の教授を歴任された他、日本免疫学会第13代会長を務められました。東大を昨年ご退官され、現在は富山県薬事研究所所長と富山大学教授を兼任されながら、さらなるご研究に邁進されておられます。今回のセミナーでは最近の先生のご研究の中から、結核菌の分泌するタンパク質である Ag85Bの免疫増強効果（アジュバント活性）についてご講演いただきます。先生は、結核菌から産生される Ag85Bが強力なアジュバント活性を有することを発見され、T細胞レセプター遺伝子改変マウスを作製することにより、結核菌感染の標的細胞の同定と抗結核免疫のエフェクターT細胞の生成機序を解明しつつあります。またAg85Bのアジュバント活性のワクチンへの応用の可能性についても論じていただきます。

#### 参考文献

- Takatsu K and Nakajima H. IL-5 and eosinophilia. Curr. Opin. Immunol. 20: 288-94, 2008.
- Hosoi A, Takatsu K, et al. Memory Th1 cells augment tumor-specific CTL following transcutaneous peptide immunization. Cancer Res. 68: 3941-9, 2008.

本セミナーは医学履修課程特別セミナー等を兼ねています。  
受講学生は履修簿を持参し、セミナー修了後にサインを受けること。  
聴講は自由大歓迎です。学部生の皆さんもぜひどうぞ。

拠点リーダー 岡 芳知

世話人 菅村和夫（免疫学・内線8096）